

学 科	鍼灸マッサージ科	学年	3年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有	
授業科目名	臨床実習			担当教員	木村博吉・堀部吉隆・吉田麻吏・杉山慶介			
授業の方法	講義・演習			単位数	3単位	時間数	90時間	
学修内容	臨床で行われている様々な治療法についてその概要を知り、臨床の場で応用できるような知識・技術を身につける。							
授業の到達目標	II. 医学的知識      1. 人体の正常な機能と構造 III. 基本的臨床能力      5. あはき施術を安全かつ適切に行う能力							
授業計画	前 期(月)			後 期(火)				
	回	テーマ		回	テーマ		回	テーマ
	1	オリエンテーション、診察の流れ、カルテ記載		16	治療実習⑦(6名×3組)/身体診察①		17	治療実習⑧(6名×3組)/身体診察②
	2	仰臥位での刺鍼施灸(鍼10穴・灸2穴)		18	治療実習⑨(6名×3組)/身体診察③		19	治療実習⑩(6名×3組)/身体診察④
	3	仰臥位での刺鍼施灸(鍼10穴・灸2穴)		20	予備日		21	予備日
	4	伏臥位での刺鍼施灸(鍼10穴・灸2穴)		22	評価実習①(3名×3組)/刺鍼・施灸練習①		23	評価実習②(3名×3組)/刺鍼・施灸練習②
	5	伏臥位での刺鍼施灸(鍼10穴・灸2穴)		24	評価実習③(3名×3組)/刺鍼・施灸練習③		25	評価実習④(3名×3組)/刺鍼・施灸練習④
	6	演習:医療面接～病態把握～治療方針		26	評価実習⑤(3名×3組)/手技練習①		27	評価実習⑥(3名×3組)/手技練習②
	7	演習:医療面接～病態把握～治療方針		28	評価実習⑦(3名×3組)/手技練習③		29	評価実習⑧(3名×3組)/手技練習④
	8	演習:医療面接～病態把握～治療方針		30	評価実習⑨(3名×3組)/身体診察①		31	評価実習⑩(3名×3組)/身体診察②
	9	演習:医療面接～病態把握～治療方針		32	予備日		33	予備日
	10	治療実習①(6名×3組)/刺鍼・施灸練習①		34	実技評価①(6名×3組)/刺鍼・施灸練習①		35	実技評価②(6名×3組)/刺鍼・施灸練習②
	11	治療実習②(6名×3組)/刺鍼・施灸練習②		36	実技評価③(6名×3組)/刺鍼・施灸練習③		37	実技評価④(6名×3組)/刺鍼・施灸練習④
	12	治療実習③(6名×3組)/刺鍼・施灸練習③		38	実技評価⑤(6名×3組)/手技練習①		39	実技評価⑥(6名×3組)/手技練習②
	13	治療実習④(6名×3組)/刺鍼・施灸練習④		40	実技評価⑦(6名×3組)/手技練習③		41	実技評価⑧(6名×3組)/手技練習④
	14	治療実習⑤(6名×3組)/手技練習練習①		42	実技評価⑨(6名×3組)/刺鍼・施灸練習①		43	実技評価⑩(6名×3組)/刺鍼・施灸練習②
15	治療実習⑥(6名×3組)/手技練習練習②		44	予備日		45	予備日	
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)							
評価方法	評価実習40%、実技評価20%、カルテ評価20%、症例報告10%(臨床推論内で実施する症例報告会の評価を加味します。), 平常点10%			実務経歴	臨床・研究経験:約6年(本校専任教員と兼任) 埼玉医科大学東洋医学科の研修生を経て非常勤職員(平成14年～平成20年) 所属:全日本鍼灸学会、日本東洋医学会、現代医療鍼灸研究会			
履修上の注意	3年間で学んだ知識と技能の総合的能力が試される授業になりますので、日々の練習を心がけてください。			授業時間外の学習	医療面接、整形外科的理学検査の復習をしっかりと行ってください。			
使用教材	配布資料・東海医療学園「臨床実習ハンドブック」 臨床実習診療録のコピー・症例報告書			連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねてください。(月～金)			